

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
21	東京純心大学	宗教学	徳田 安津樹 現代文化学部 非常勤講師	2	後期		15		東京純心大学	5

#### 【到達目標】

1. 様々な宗教伝統についての基礎知識を、世界各地で起きている出来事や身近な問題に適用し、説明することができる。
2. 宗教学の基本的な考え方を説明することができる。
3. 宗教や宗教学についての知識や考え方を踏まえながら、自分と異なる立場に立っている他者との関わり方について、自分の意見をまとめ、表明することができる。

#### 【授業の概要】

今日、世界各地で多発している紛争や衝突には、しばしば「宗教」が重要な問題として関わっている。また、多文化社会が進む現代にあつては、身近な関係性のなかでさえ、多様な宗教的背景を有する「他者」と関わることなしに生きていくことが想定しにくい状況になりつつある。しかも、ここには、必ずしも一般に「宗教」と見なされていない慣習や信念も関係する。とりわけ現代では、スピリチュアリティといった曖昧で制度的でない領域が勢いを増しているなど、「宗教」が極めて多様な姿を取っており、このことが事態をいっそう複雑にしている。以上を踏まえ、この授業では、宗教伝統の教えや歴史的展開についての基本的な知識を獲得するとともに、「宗教学」の基本的な考え方を学びつつ、「宗教」と「非宗教」の境界線をしばしば流動化させながら、現代世界における「宗教」の様々な形態を捉える。また、「宗教」を暴力と寛容という観点から再考し、多様な宗教的背景を持つ「他者」との共生のあり方を検討する。すなわち、「宗教」と「宗教学」を学ぶことを通じて、いかに「他者」と向き合うか、いかにすれば「他者」と対話的な関係を構築できるかを考えることを目指す。

#### 【授業内容】

1. 世界の様々な宗教
  - ・世界各地にはどのような「宗教」があるのかを概観し、それらの分類方法を学ぶとともに、われわれがどのようなものを「宗教」として捉えているのかを考察する。
  - ・プロジェクターを用いて授業を行う。
2. 宗教と宗教学
  - ・宗教概念論を通じて、現代の宗教学の基本的な考え方を学ぶ。
  - ・プロジェクターを用いて授業を行う。
3. ユダヤ教とキリスト教
  - ・三つの一神教を整理しつつ、ユダヤ教とキリスト教の概要と基本的な教えを学ぶ。
  - ・プロジェクターを用いて授業を行う。
4. イスラーム (1) ムハンマドの生涯と教え
  - ・ムハンマドの生涯を概観することを通じて、イスラームの成立と基本的な教えを学ぶ。
  - ・プロジェクターを用いて授業を行う。
5. イスラーム (2) イスラームの現在
  - ・多様化したイスラームの諸相と、現代イスラームに関連して生じている問題について学ぶ。
  - ・プロジェクターを用いて授業を行う。
6. ヒンドゥー教
  - ・ヒンドゥー教の概要と多様な実践を学ぶ。
  - ・プロジェクターを用いて授業を行う。
7. 仏教 (1) ブッダの生涯と教え
  - ・ブッダの生涯を見ることを通じて、仏教の成立との基本的な教えを学ぶ。
  - ・プロジェクターを用いて授業を行う。
8. 仏教 (2) 仏教の現在
  - ・仏教の歴史的展開と、現代の多様化した実践を学ぶ。
  - ・プロジェクターを用いて授業を行う。
9. 儒教
  - ・儒教的な世界観や死生観を概観し、その日本に対する影響を学ぶ。
  - ・プロジェクターを用いて授業を行う。
10. 神道
  - ・神道の概要を捉え、とりわけ近現代における神道の位置とその歴史的展開を学ぶ。
  - ・プロジェクターを用いて授業を行う。
11. 日本の新宗教
  - ・近現代の日本において続々と成立した新宗教を概観し、その基本的な特徴を学ぶ。
  - ・プロジェクターを用いて授業を行う。
12. 現代世界における宗教の様々な形態
  - ・現代の世界と日本において宗教がどのような形で存在しているかを学ぶ。
  - ・プロジェクターを用いて授業を行う。
13. 宗教と暴力
  - ・宗教が暴力や戦争とどのように関係しているかを、各宗教伝統の教えや、具体的な事例を通して学ぶ。
  - ・プロジェクターを用いて授業を行う。
14. 宗教と寛容
  - ・宗教的寛容に関する主要な概念と思想を学ぶ。
  - ・プロジェクターを用いて授業を行う。
15. まとめ
  - ・これまで宗教や宗教学について学んでことを振り返りつつ、他者といかに関わるかという問題について、自分の意見をまとめる。
  - ・プロジェクターを用いて授業を行う。

#### 【成績評価方法】

授業参加度 (25%)、課題・リアクションペーパー (25%)、中間レポート (20%)、最終レポート (30%)。  
課題は「到達目標」の1と2の達成度を、中間レポートおよび最終レポートは「到達目標」の3の達成度を、それぞれ評価基準とする。

#### 【教科書】

使用しない。必要な資料やプリントは授業中に配布する。

【参考書、教材等】

島藪進、福嶋信吉、葛西賢太、藤原聖子編『宗教学キーワード』有斐閣、2006年  
『いま宗教に向き合う』シリーズ1～4巻、岩波書店、2018年  
上記以外にも授業内で適宜紹介していく。

※ 初回の授業については、学務課にお問い合わせください。